

文部科学省「地域科学技術実証拠点整備事業」の採択拠点の決定について

本日、文部科学省から「地域科学技術実証拠点整備事業」の採択結果について公表があり、東京工業大学が本市川崎区殿町キングスカイフロント等に拠点を整備することの提案が採択されました。文部科学省の報道発表資料を情報提供いたします。

1 東京工業大学の申請テーマ

「IoTとIT創薬による京浜「頭脳」地域化に向けた実証拠点群」

2 申請主体 国立大学法人東京工業大学

3 共同提案自治体 横浜市、川崎市、大田区

4 整備拠点 東京工業大学すずかけ台・大岡山キャンパス、殿町国際戦略拠点キングスカイフロント

【キングスカイフロント拠点の整備概要】

大和ハウス工業株式会社所有地のA地区の施設（整備中）のうち、約150㎡を東京工業大学が「IT創薬設計ファクトリ」として整備

5 採択金額

2.5億円（3拠点合計額）

6 経緯

東京工業大学は、川崎市や慶應義塾大学等が共同で採択を受けた、国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）の「世界に誇る地域発研究開発・実証拠点（リサーチコンプレックス）推進プログラム」の提案機関として、キングスカイフロント立地企業等とともにIT創薬プロジェクトを実施することとしており、キングスカイフロントにおける「IT+ライフサイエンス」の新産業を創出する拠点を整備するため、川崎市を共同提案者として「地域科学技術実証拠点整備事業」に申請したものです。

問い合わせ先

川崎市臨海部国際戦略本部国際戦略推進部 担当課長 柴山

電話044-200-3633